

正負の数 No.5

組 番 氏名 教師用

1 復習問題 (個人→一斉)

(1) -2 と -7 では (-2) の方が大きい。

絶対値は (-7) の方が大きい。

(2) $+4m$ を 「 東へ $4m$ 移動すること 」 とすると、

$-9m$ は 「 西へ $9m$ 移動すること 」 を表す。

前回の授業では、正負の数を使ったさまざまな表現について考えました。

今回の授業では、“正負の数のたし算”について考えます。

例えば、 $+3$ と -5 をたすと、どんな数になるのでしょうか？

今日のめあて

正負の数のたし算について考えてみよう。

2 用語の確認 (一斉)

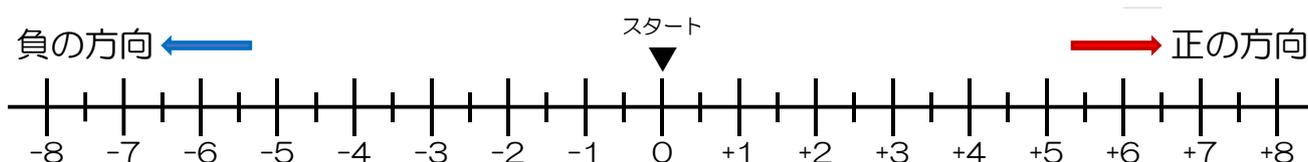
・ 加法 … たし算のこと

・ 和 … たし算の“こたえ”のこと

・ 同符号 … 符号が同じ数のこと 例： $+3$ と $+5$ ， -3 と -5 など

・ 異符号 … 符号が異なる数のこと 例： $+3$ と -5 ， -3 と $+5$ など

3 正負の数の加法について、数直線を使って考えてみよう。(一斉→班)



※ 上の数直線において、 $+3$ を 「 正の方向へ 3 移動すること 」 とすると、
 -5 は 「 負の方向へ 5 移動すること 」 を表す。

○パターン1：同符号の加法

例1： $(+3) + (+5) =$ $+8$

この式は、数直線上で原点から 「 正の方向へ 3 移動 」 し、
そのあと 「 正の方向へ 5 移動 」 したことを表す。

結果的に原点から 「 正の方向へ 8 移動 」 したことになる。

※ この式は、「プラス3 たす プラス5」と読みます。

※ この式は、小学校で学んだ $3 + 5$ と同じです。

※ $+3++5$ のように $+$ 、 $-$ 、 \times 、 \div の記号は連続して書かず () で区切ります。

正負の数 No.5

組 番 氏名 教師用

例2: $(-3) + (-5) = -8$

この式は、数直線上で原点から「負」の方向へ 3 移動し、
そのあと「負」の方向へ 5 移動したことを表す。

結果的に原点から「負」の方向へ 8 移動したことになる。

※ この式は、「マイナス3 たす マイナス5」と読みます。

○パターン2：異符号の加法

問1：パターン1を参考に、次の2つの数の和を求めましょう。

(1) $(+3) + (-5) = -2$

(2) $(-3) + (+5) = +2$

4 加法の計算方法について、絶対値を使って考えてみよう。(班→一斉)

問2：次の2つの数の和を求めましょう。

(1) $(-100) + (-50) = -150$

(2) $(+100) + (-50) = +50$

○加法の計算方法

「同符号の加法」

絶対値の和に共通の符号をつける

例1: $(+3) + (+5) = +(3 + 5) = +8$

例2: $(-3) + (-5) = -(3 + 5) = -8$

「異符号の加法」

絶対値の“大きい方”から“小さい方”をひき、

絶対値の(大きい方 ・ 小さい方) の符号をつける

例3: $(+3) + (-5) = -(5 - 3) = -2$

例4: $(-3) + (+5) = +(5 - 3) = +2$

振り返り(わかったこと・わからなかったこと・考えたことなど)

今日の理解度: A B C (振り返りが終わったら、予習 → 問題集)

次回の授業では、正負の数の加法をくふうして計算することについて考えます。

正負の数 No.5

組 番 氏名

1 復習問題

(1) -2 と -7 では (-2 ・ -7) の方が大きい。

絶対値は (-2 ・ -7) の方が大きい。

(2) $+4\text{m}$ を 「 東へ 4m 移動すること 」 とすると、

-9m は 「 _____ 」 を表す。

前回の授業では、正負の数を使ったさまざまな表現について考えました。

今回の授業では、“正負の数のたし算”について考えます。

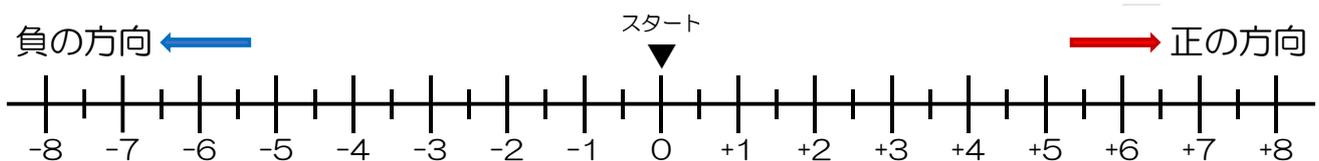
例えば、 $+3$ と -5 をたすと、どんな数になるのでしょうか？

今日のめあて

2 用語の確認

- _____ … たし算のこと
- _____ … たし算の“こたえ”のこと
- _____ … 符号が同じ数のこと 例： $+3$ と $+5$ ， -3 と -5 など
- _____ … 符号が異なる数のこと 例： $+3$ と -5 ， -3 と $+5$ など

3 正負の数の加法について、数直線を使って考えてみよう。



※ 上の数直線において、 $+3$ を 「 正の方向へ 3 移動すること 」 とすると、
 -5 は 「 負の方向へ 5 移動すること 」 を表す。

○パターン1：同符号の加法

例1： ($+3$) + ($+5$) = _____

この式は、数直線上で原点から 「 正の方向へ 3 移動 」 し、
そのあと 「 正の方向へ 5 移動 」 したことを表す。

結果的に原点から 「 正の方向へ 8 移動 」 したことになる。

※ この式は、「プラス3 たす プラス5」と読みます。

※ この式は、小学校で学んだ $3 + 5$ と同じです。

※ $+3++5$ のように $+$ 、 $-$ 、 \times 、 \div の記号は連続して書かず () で区切ります。

正負の数 No.5

組 番 氏名

例2: $(-3) + (-5) =$ _____

この式は、数直線上で 原点 から 「 _____ の方向へ _____ 移動 」 し、

そのあと 「 _____ の方向へ _____ 移動 」 したことを表す。

結果的に 原点 から 「 _____ の方向へ _____ 移動 」 したことになる。

※ この式は、「 マイナス3 たす マイナス5 」と読みます。

○パターン2: 異符号の加法

問1: パターン1を参考に、次の2つの数の和を求めましょう。

(1) $(+3) + (-5) =$ _____

(2) $(-3) + (+5) =$ _____

□ 4 加法の計算方法について、絶対値を使って考えてみよう。

問2: 次の2つの数の和を求めましょう。

(1) $(-100) + (-50) =$ _____

(2) $(+100) + (-50) =$ _____

○加法の計算方法

「同符号の加法」

絶対値の和 に 共通の符号 をつける

例1: $(+3) + (+5) = + (3 + 5) = +8$

例2: $(-3) + (-5) =$ _____

「異符号の加法」

絶対値の “大きい方” から “小さい方” をひき、

絶対値の (大きい方 ・ 小さい方) の符号をつける

例3: $(+3) + (-5) = (\quad - \quad) = -2$

例4: $(-3) + (+5) =$ _____

振り返り (わかったこと・わからなかったこと・考えたことなど)

今日の理解度: A B C (振り返りが終わったら、予習 → 問題集)

次回の授業では、正負の数の加法をくふうして計算することについて考えます。